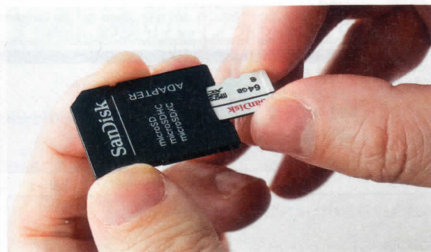


スマホでmicroSDカードを便利に使う

●AndroidスマホはmicroSDカードが使える



図1 Android端末の大半は、microSDカードスロットを備え、外部ストレージとして増設できる。カードに保存したデータは、変換するアダプターでつなげばパソコンでも利用可能だ



スマートフォンの内蔵ストレージの容量は32GBから256GB程度。OSや標準アプリが占有している容量を除けば、使える容量はさらに小さくなる。写真や動画を撮影したり、音楽をダウンロードして再生したりしていれば、空き容量はあっという間になくなってしまふ。

Androidを採用するスマートフォンやタブレットの大半は、microSDカードスロットを備え、microSDカードを外部ストレージとして増設できるようになっている(図1)。大事なデータのバックアップ先としても利用可能だ。microSDカードをスマートフォンできちんと使いこなすためのポイントを解説しよう。

●写真や音楽のデータ保存先を選ぶ

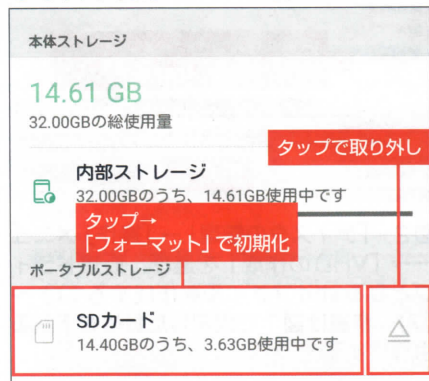


図2 microSDカードを初期化するには、「設定」→「ストレージ」を開く(操作内容は機種により異なる)

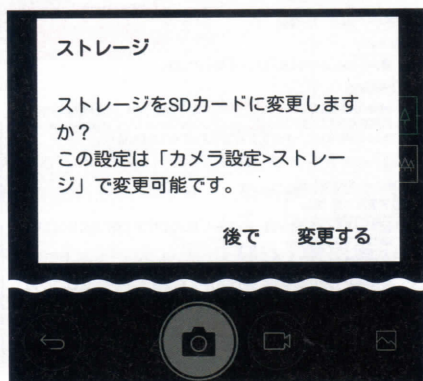


図3 Androidスマートフォンの大半は、カメラ機能で撮影した写真の保存先にSDカードを選べるようになっている

遅いSDカードは要注意

まずは、microSDカードをスマートフォンで使えるように設定する。一部のスマートフォンは、microSDカードスロットとSIMカードスロットが一体化しており、microSDカードを挿し込むと再起動がかかる。電源を落としてからmicroSDカードをつなぐと安全だ。

購入直後のmicroSDカードはフォーマット済みなので、挿せばすぐに使えるようになる。ただし、別の機器やパソコンなどでフォーマットしたmicroSDカードは、正しく認識されないことがある。その場合は、標準設定でフォーマットを実行しよう(図2)。

アプリが生成する写真や文書などのデータをmicroSDカードに保存するには、アプリごとに設定が必要に

●Android 6.0以降の一部モデルは内部ストレージ化が可能

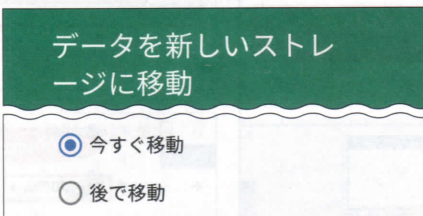


図4 Android 6.0以降に対応する一部の端末は、microSDカードを初期化する際に、SDカードを内部ストレージに割り当てることが可能だ(画面はワイモバイルの「Android One S3」)。フォーマット後に内蔵ストレージに保存した一部のデータをmicroSDカードに転送できる

なる。標準のカメラアプリだと、起動時にmicroSDカードを自動認識して、保存先を自動的に切り替えるか、ユーザーに選ばせるようにしていることが多い(図3)。

「Android One」シリーズなど、Android 6.0以降を搭載したスマートフォンには、microSDカードを内部ストレージとして割り当てられるモデルも一部ある(図4)。写真や音楽といったデータに加え、アプリもmicroSDカードに保存可能になる。

ただし、読み書きが遅いmicroSDカードを使うと、全体的な処理速度が落ちやすくなる。microSDカードの選別には要注意だ。また、接続したmicroSDカードは、内部ストレージと同じLinuxの形式で初期化されるので、そのまま別の機器につないでも認識されない。

機種変更時にも使える

NTTドコモ、au(KDDI)、ソフトバンクといった大手通信事業者のスマートフォンは、標準でバックアップ機能やアプリを搭載している(図5)。NTTドコモの「データコピー」の場合、電話帳やメール、写真、音楽などから保存対象を選びバックアップを実行すると、microSDカードに対象のデータが丸ごと保存される(図6)。復元するには、同じ要領で復元対象を選ぶだけだ(図7)。バックアップ機能は機種変更時にも利用できる。バックアップデータを保存したmicroSDカードを新しい機種につなぎ、同じ機能で復元すればデータをそのまま移行できる。auやソフトバンクでも、操作のおおまかな流れは同じだ(図8)。

●microSDカードでバックアップやデータ移行

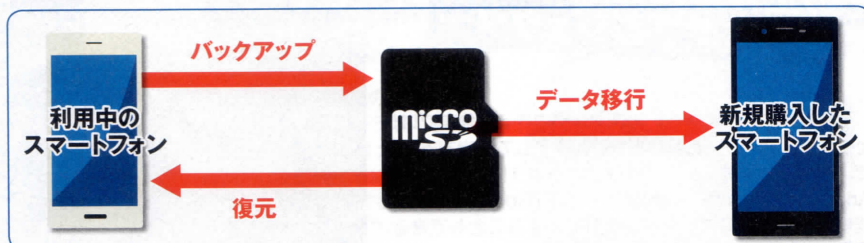


図5 Androidスマートフォンの場合、標準の機能やアプリで電話帳やメールなどのデータをmicroSDカードにバックアップできる。バックアップしたデータは、機種変更時に新しい機種で復元すれば元の環境を移行できる

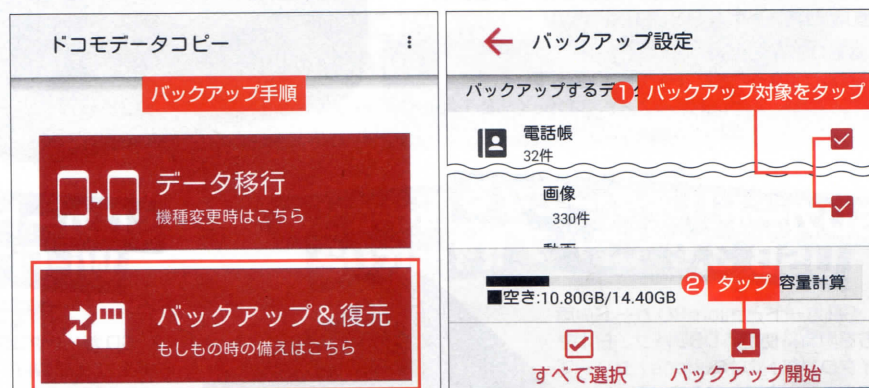


図6 NTTドコモの「データコピー」を使ったデータバックアップの手順。「バックアップ&復元」→「バックアップ」の順にタップし(左)、保存するデータを選ぶ(右)

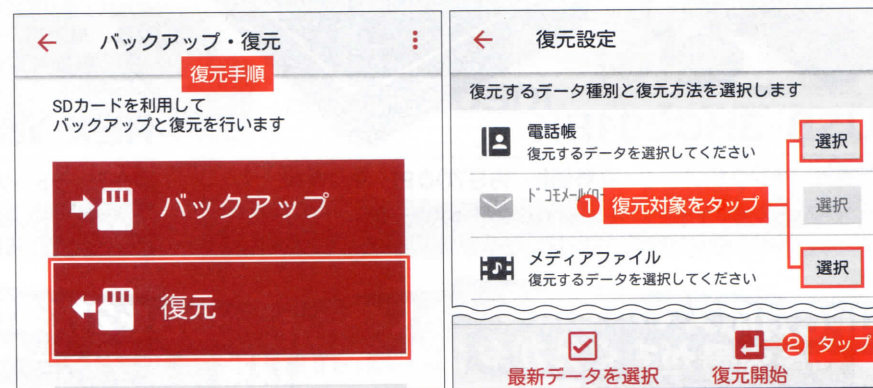


図7 図6左の画面で「バックアップ&復元」をタップし、さらに「復元」をタップする(左)。復元対象を選び「復元開始」を選ぶと処理が実行される(右)

	au(KDDI)	ソフトバンク
データのバックアップ(復元)	設定 → au設定メニュー → データを移行する → SDカードに保存する(SDカードから復元する)	あんしんバックアップ → データの保存(データの読み込み) → SDカード
機種変更時のデータ移行(復元)	設定 → au設定メニュー → データを移行する → 機種変更はこちら → データ移行を始める → データを保存する(保存済みデータを戻す)	手順はデータのバックアップと同じ
保存対象	電話帳、メール、SMS、写真、音楽、ブックマーク、カレンダーなど	電話帳、メール、写真、音楽、カレンダーなど

図8 au(KDDI)やソフトバンクのAndroidスマートフォンにも、標準でバックアップおよびデータ移行用のアプリがある。機種や搭載するOSのバージョンにより、操作方法は異なる場合がある